



第12期(2011年3月期) 決算説明会

2011/05/18

modulat

モジュレ株式会社 (JASDAQ : 3043)

<http://www.modulat.com/>

目次

◇ 2011年03月期の総括	・・・	3p
◇ 2012年03月期の見通し	・・・	4p
◇ 財務諸表:損益計算書	・・・	5p
◇ 財務諸表:貸借対照表	・・・	7p
◇ 財務諸表:キャッシュフロー計算書	・・・	8p
◇ 売上高の推移	・・・	9p
◇ 売上総損益の推移	・・・	10p
◇ 営業損益の推移	・・・	11p
◇ 当期純損益の推移	・・・	12p
◇ その他指標の推移	・・・	13p
◇ “つ良い企業”への課題 など	・・・	14p
◇ お問い合わせ	・・・	15p

2011年03月期の総括

堅実に業績回復

景気後退によるIT投資の先送りなどの影響はあるものの、堅実に実績を積み重ね、当期も増収増益。売上高1,239百万円、営業利益で67百万円、純利益65百万円と期首予測を上回る結果で、V字回復が明確になった。

ITサービスへの回帰が鮮明に、商品販売も回復傾向

ITサービスが堅調に推移。特に継続的ITサービスは計画を上回り順調に推移し、売上増・利益増を継続。商品販売は厳しい経済環境が続くもののやや回復の徴候が見え始めた。

適正コストの維持

経営体制の強化（取締役会の強化、監査役会の新設、会計監査人の設置、教育の拡充など）を実施済み。費用は若干増だが、適正な経営体制及び監視体制の下に、ビジネススピードが向上し、経営的安定性及び業績等に寄与した。

2012年03月期の見通し

堅実な収益構造を強化、将来への布石も

景気の先行きは不透明ながら、現在の堅実な収益基盤をより強化し続ける。その上で、新サービス等への投資も再開し、今後10年を見据えた新しいサービス、次世代の人材育成など将来への布石を打つ。

継続ITサービスへの特化！特化！特化！

競争力を維持している継続ITサービス契約の長期化、安定化、大型化に挑戦し続ける。特にお客様企業が今後求める新しいITサービスに積極的に取り組む計画。又、過去のITサービス投資がキャッシュフロー面でも収穫時期に入る。

迅速かつ安定した経営体制

迅速かつ安定した経営体制を企業DNAとして維持・継続・徹底し続け、上場企業の信頼を業績へ反映させる方向へ。内部監査及び内部統制監査もより厳正に強化。又、シンプルな資本構造・業務構造は可能な限り維持し、早期の復配を目指す。

財務諸表：損益計算書

(百万円)

	10/03期			11/03期			12/03期	
	実績	対前年比		実績	対前年比		予測	対前年比
売上高	978	--		1,239	--		1,316	106.2%
ITサービス	785	--		858	--		976	113.8%
商品	192	--		381	--		339	89.0%
売上総利益	262	--		315	--		334	106.0%
ITサービス	239	--		259	--		298	115.1%
商品	23	--		55	--		35	63.6%
販管費	166	--		248	--		251	101.2%
営業損益	96	--		67	--		82	121.7%
経常損益	93	--		71	--		85	118.2%
当期純損益	57	--		65	--		70	107.5%

*10/3期は、決算期変更のため、10ヶ月決算となっております。そのため、10/03期、11/03期の対前年比は記載を省略しております。

- ◆ ITサービスは堅調：特に継続的ITサービスは順調に維持拡大を続ける。
- ◆ コスト適正化：若干の費用増だが、販管費率では20.0%(11/03期)→19.1%(12/03期)。適正コストを維持し利益は確保。
- ◆ 高利益体質へ：収益構造の改善を続け、営業利益率の更なる向上を目指す。

財務諸表：(ご参考)損益計算書 11/03期 同期間比較

(百万円)

	10/03期	11/03期	
	実績(参考・12ヶ月)	実績	対前年比
売上高	1,157	1,239	107.1%
ITサービス	940	858	91.3%
商品	216	381	176.4%
売上総利益	310	315	101.6%
ITサービス	277	259	93.5%
商品	32	55	171.9%
販管費	198	248	125.3%
営業損益	112	67	59.8%
経常損益	111	71	64.0%

*10/3期実績(参考)の数値は、2009年4月～2010年3月累計期間(12ヶ月)の月次試算表を元にした数値であり、監査法人による監査を受けておりません。

財務諸表：貸借対照表

	10/03期		11/03期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	334	32.9	298	25.3
現預金	65	6.5	49	4.2
売掛金	83	8.2	100	8.6
たな卸資産*	123	12.1	84	7.1
その他	62	6.1	62	5.4
固定資産	682	67.1	881	74.7
有形固定資産	322	31.7	514	43.6
(減価償却累計額)	-231		-287	
無形固定資産	70	6.9	90	7.7
投資その他の資産	289	28.5	275	23.3
総資産	1,016	100.0	1,179	100.0

*たな卸資産には、リース投資資産を含む。

(百万円)

	10/03期		11/03期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動負債	409	40.3	649	55.1
買掛金	39	3.9	83	7.1
1年内返予長借	175	17.3	226	19.2
前受金	111	11.0	173	14.7
その他	82	8.1	167	14.1
固定負債	459	45.2	317	26.9
負債合計	868	85.5	966	82.0
純資産	147	14.5	212	18.0
資本金・資本剰余金	408	40.2	408	34.6
利益剰余金 他	-260	-25.6	-195	-16.6
負債純資産 合計	1,016	100.0	1,179	100.0

- ◆ サービス提供用の資産の増加と前受金の増加等により、固定資産及び流動負債が増加。
- ◆ 当期純利益の計上により、純資産が増加。
- ◆ 現預金は2011年03月期末で(長期資金面からも)底入れ。

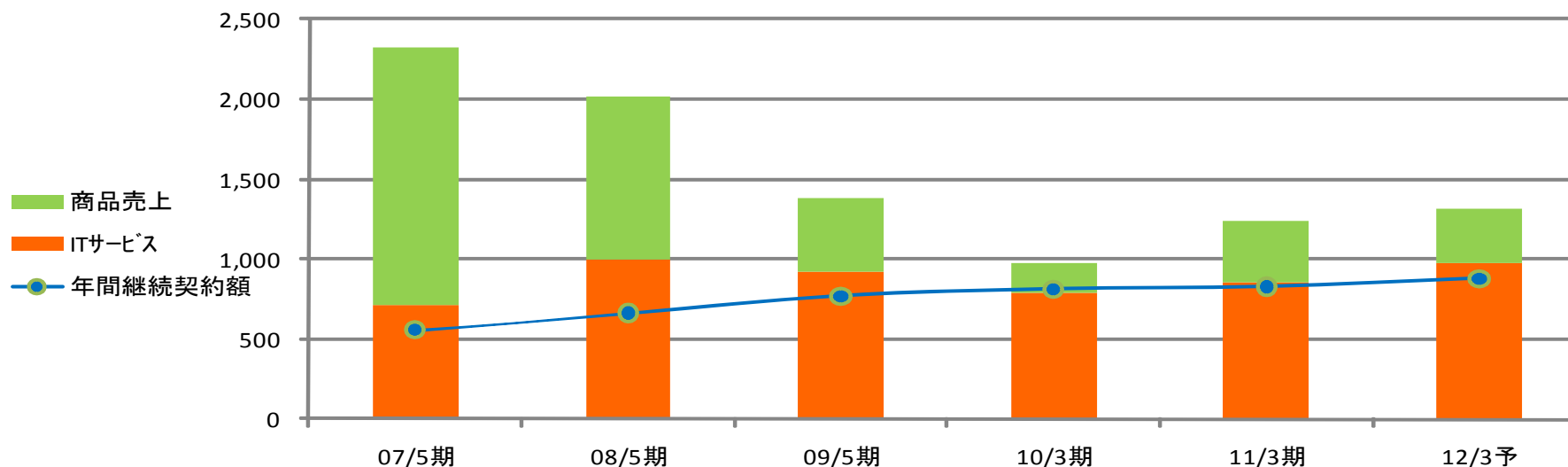
財務諸表：キャッシュフロー計算書

(百万円)

区 分	10/03期	11/03期
営業キャッシュ・フロー	-158	189
投資キャッシュ・フロー	10	-114
財務キャッシュ・フロー	-33	-91
現金及び現金同等物の期末残高	65	49

- ◆ 営業キャッシュ・フロー : 税引前当期純利益の計上、前受金の増加等により獲得
- ◆ 投資キャッシュ・フロー : 有形固定資産の取得等により使用
- ◆ 財務キャッシュ・フロー : 長期借入金の返済による支出等により使用

売上高の推移

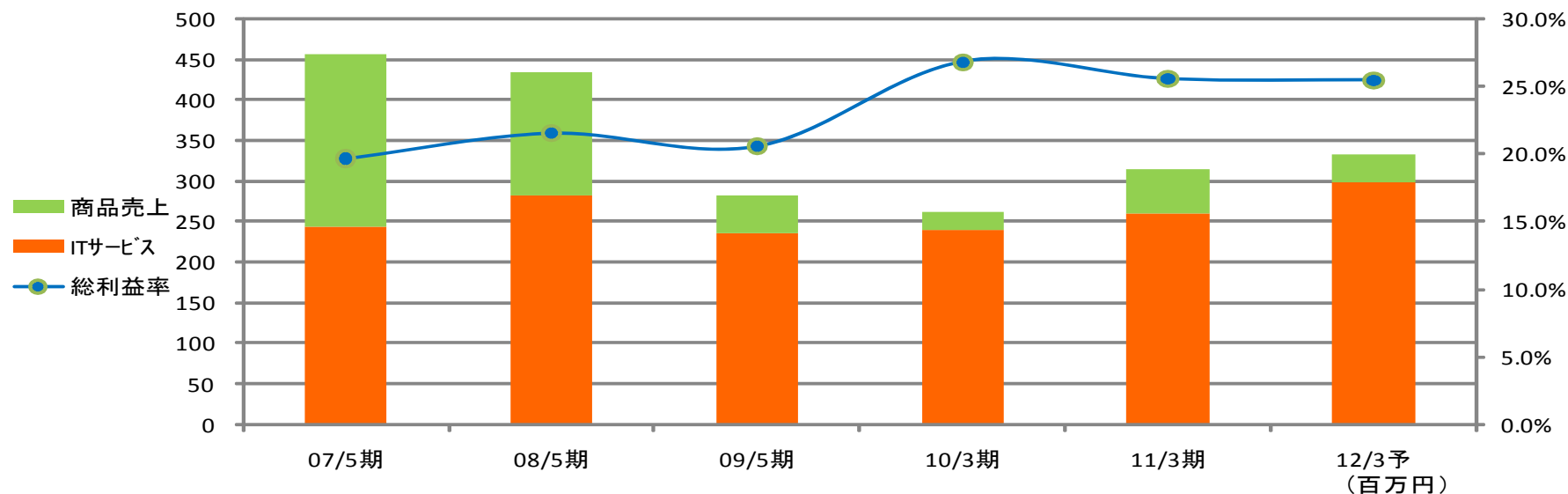


	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
合計	2,330	2,017	1,381	978	1,239	1,316
ITサービス	710	1,003	917	785	858	976
商品売上	1,620	1,013	463	192	381	339
年間継続契約額	558	663	771	813	827	878

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 11/3期 : 継続ITサービスは順調に増加、商品売上はやや回復傾向。
- ◆ 12/3期 : ITサービスは堅調に増加計画。商品売上は震災の影響未定で微減計画。

売上総損益の推移



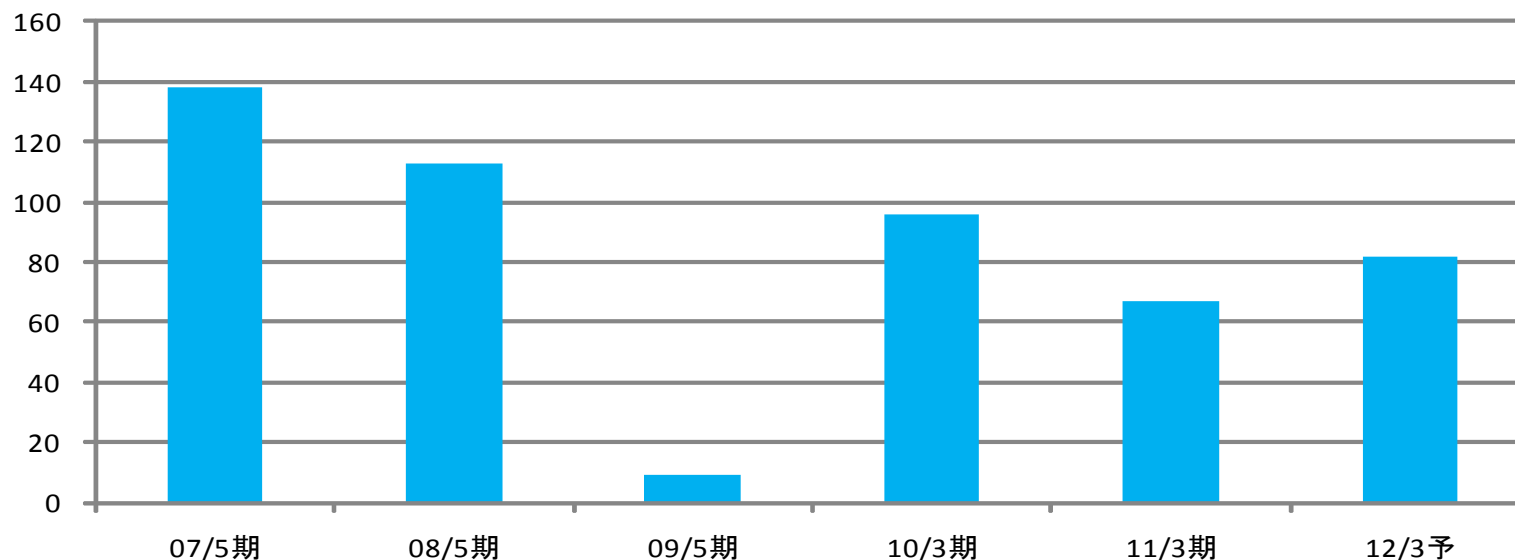
合計	458	434	284	262	315	334
	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
ITサービス	243	283	235	239	259	298
商品売上	214	151	48	23	55	35
総利益率	19.7%	21.5%	20.6%	26.8%	25.5%	25.4%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 11/3期 : ITサービスは堅実に増加。商品売上也売上増により利益増。
- ◆ 12/3期 : ITサービスは順調に増加計画。総利益率も適正水準を維持。

営業損益の推移



(百万円)

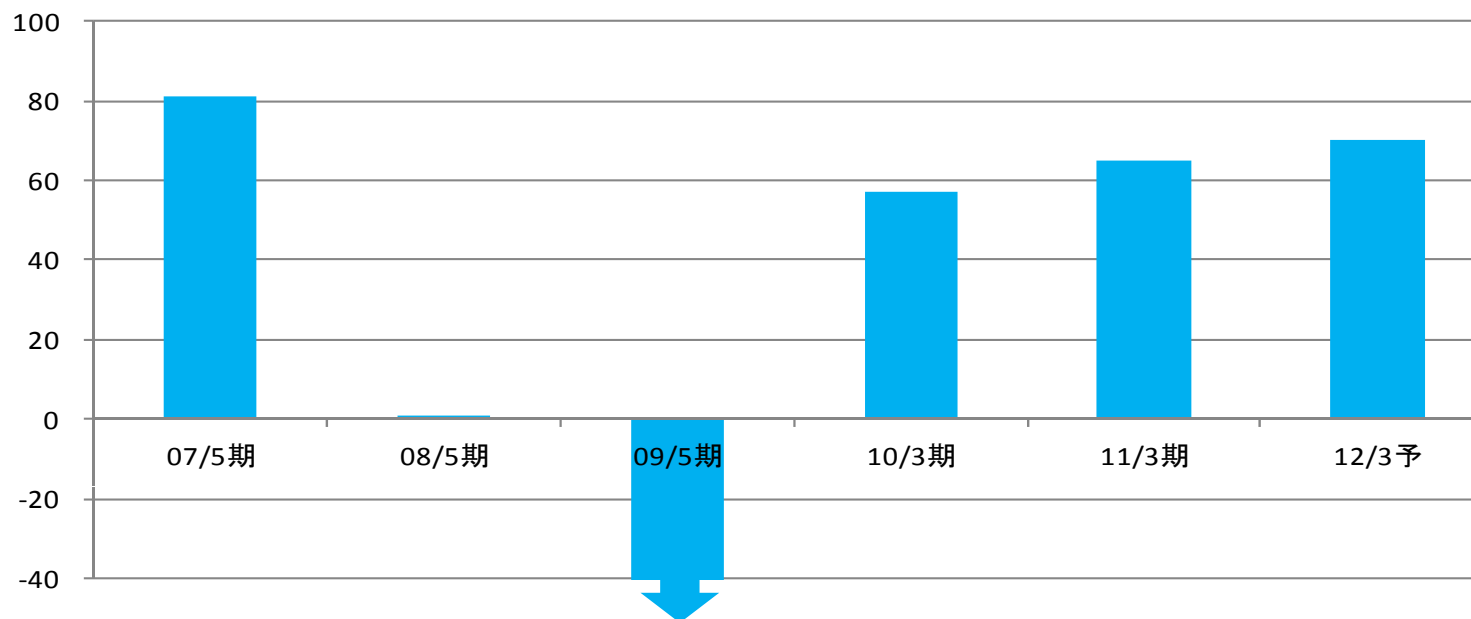
	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
営業損益	138	113	9	96	67	82
営業利益率	6.0%	5.6%	0.7%	9.8%	5.5%	6.3%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 11/3期 : 経営体制の強化等による販管費増から減少だが、必須コストと認識。
- ◆ 12/3期 : 新経営体制も寄与し、堅実に増加計画。

当期純損益の推移



	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
当期純損益	81	1	-459	57	65	70
純利益率	3.5%	0.1%	—	5.9%	5.3%	5.3%

(百万円)

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 11/3期 : 堅実に増加。
- ◆ 12/3期 : 継続して増加計画。

その他指標の推移

	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
顧客数(社)	23	28	28	35	51	69	69	67	56	60
対前年	43.8%	21.7%	0.0%	25.0%	45.7%	35.3%	0.0%	-2.9%	-16.4%	7.1%
年間継続 契約額(百万円)	--	217	258	343	558	663	771	813	827	878
対前年	--	--	18.9%	32.9%	62.7%	18.8%	16.3%	5.4%	1.7%	6.2%
社員数(人)	24	30	32	36	52	50	41	41	39	42
対前年	41.2%	25.0%	6.7%	12.5%	44.4%	-3.8%	-18.0%	0.0%	-4.9%	7.7%
経常利益率	3.5%	2.0%	2.6%	5.5%	6.2%	2.3%	-17.5%	9.5%	5.8%	6.5%
EPS(円)	4,893.05	1,574.06	2,720.13	6,853.98	5,970.68	84.99	-33,552.62	4,191.93	4,782.24	5,141.24
配当性向	4.2%	20.0%	20.0%	16.4%	24.8%	—	—	—	—	—

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

- ◆ 顧客数は、一過性ビジネスの顧客が減少、12/3期は継続サービスの顧客が増加見込み。
- ◆ 年間継続契約額は、順調に増加を継続する見込みで、長期的な安定に寄与。
- ◆ 経常利益率は、現水準を継続して、改善を続ける。
- ◆ 配当(配当性向)は、利益を着実に積み重ね、早期復配を目指す。

“つ良い企業”への課題など

将来に向かって

今後の長期的成長に向けて、いくつかの新しいサービスを検討しています。
詳細については、中期経営計画(別紙)でご説明します。

東日本大震災の影響について

この震災による未曾有の被害等により、当面の間、わが国の経済状況は弱い動きが続くと見込まれます。

IT関連業界においても、設備投資や消費の減退が予測され、IT支出が抑制される可能性があり、本格的な回復はまだ先になると予想されております。

当社に関する影響としては、一部で物流インフラの被害や停電により配送業務等に遅延が生じる可能性はありますが、お客様へのITサービスのご提供にはほぼ支障がないことを確認済みです。

この災害による当社業績へ与える影響は軽微であると見込んでおります。

お問い合わせ

【 I R 窓 口 】

ストラテジック プランニング サービス

E - mail : ir@modulat.com

Tel : 03-3556-2461

Fax : 03-3556-2462

<http://www.modulat.com/>



<本資料お取扱い上のご注意>

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。